

続・初秋の里山

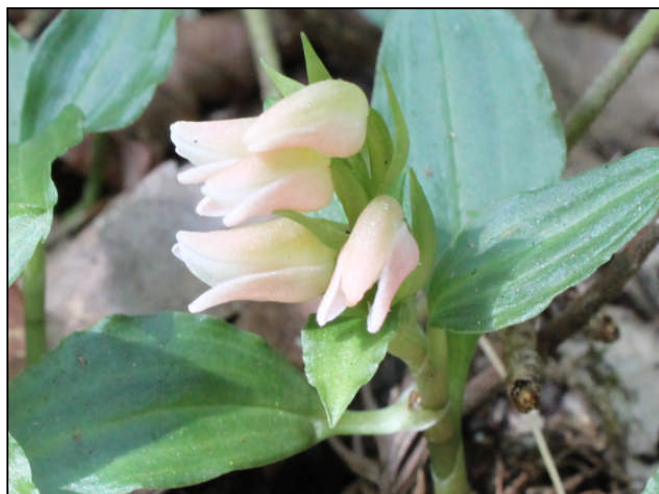
(2009年09月21日 (晴天) 奥三河某所)

昨日9/5の散策ではアケボノシュスランの花を撮影することが出来ませんでしたが、9/21に豊田に行く用事があったため、寄り道して山道を通り再び自生地を訪れることになりました。

2週間前は硬い蕾でしたが、今回は桃色に美しく咲き誇るアケボノシュスランを撮影することが出来ました。ここはアケボノシュスランの数百芽単位の群落がいくつも点在する愛知県では非常に貴重な自生地です。ただ、本種は芽数の割には開花率が悪く、花をつけている株は全体の2~3%しかありませんでした。このため、個体数は多いのですが、増殖は株繁殖が主で、実生による増殖はあまり期待できそうにありません。それにしても小さな蘭ではありますが、溪流沿いのうっそうとした樹林下で淡い桃色の花をひっそりと咲かせる姿にはなんとも神々しいものを感じました。



アケボノシュスラン



アケボノシュスラン

少し標高の高いところではイチヨウランが見られました。確認できた個体数は数株と非常に少なかったのですが、今は寒い冬に向けて新たな葉を展開し始める所でした。来年の花の時期には是非また撮影に訪れたいと思います。

林道脇には萩の大株が見事に咲き誇り、黄金に輝く稲穂の実りや朝の肌寒く乾いた空気などいたるところで秋を感じられ、ドライブにはもってこいのシーズンになりました。

ひなびた山奥の国道脇で野菜やら地元の特産品を路面で売っている店があったので寄ってみました。でしたっ！秋の味覚マツタケ！！でも。。。。高い！高すぎる！！10cm程度のキノコが4本で2万円！？しかもなぜか「岩手産」！ここは愛知なのに。。岩手産ならわざわざ愛知の山の中なんかで売らずに東京や名古屋のデパートで売ればいいのに； なんか地元の山の取れたてを装うようなこの売り方には疑問を感じました(>_<)。



萩の大株



イチヨウラン



アケボノソウ

豊田に行く途中で、田んぼの向こうに赤松が生い茂る原生林が見えたのでちょっと寄り道してみました。(マツタケ泥棒じゃありません(汗)。こういう場所は痩せた粘土質の土壌で水捌けが悪く、近くに湿地がある場合が多いからです)

思ったとおり、小さな舗装された道路の脇に僅かにミズゴケが生えていました。近くを念入りに散策してみると、湿地性の貴重な植物が見つかりました。

アケボノソウはリンドウ科の多年草で、あの苦いセンブリの仲間です。五角形の花に真っ青なスポットが入り、近くで見ると幾何学的で大変美しい花です。

サワギキョウも今では人為的に管理された保護湿地以外ではまずお目にかかれない貴重な植物です。反り返る花弁に薄紫の花は特徴的で、落ち着いた秋の雰囲気があります。



サワギキョウ



シラタマホシクサ



イワショウブ



ツルリンドウ

他にも**シラタマホシクサ**や**イワショウブ**、**ツルリンドウ**など、東海地方の秋を飾る様々な花に出会うことが出来ました。紅葉のシーズンには一月ほど早いこの時期ですが、この時期にしか出会えない花を探る散歩なんていかがでしょうか。もしかしたらすぐく身近で思いがけない植物に出会うことが出来るかもしれません。